

高齢者を前に演奏とダンスを披露する「ハーモニーピアノ」メンバー

演奏や踊り楽しい時間

市内音楽グループ 高齢者施設で披露



市内の音楽愛好者でつくるボランティアグループ「ハーモニーピアノ」は4日、槌ヶ原の三宅内科外科医院デイサービスセンターでコンサートを開き、演奏や踊りで利用者を和ませた。

利用者の大森桂治さん(79)は「子どもの演奏や踊りも見られ、元気をもらった」と喜んだ。

5〜78歳のメンバー18人が訪問。ロビーには、毎年春に同センターを訪れている。メンバーの玉野高2年藤原寧々さん(16)は「初めの名曲「オー・シャンゼリゼ」や美空ひばりさんの「真っ赤な太陽」、ディズニー音楽「小さな世界」など9曲を披露した。子どものメンバーは演奏に合わせ、ダンスを見せた。ドイツ民謡「山の音楽家」では、利用者もタンバリン、マラカスなどで合奏し、楽しんでリズムを刻んだ。

ハーモニーピアノには、毎年春に同センターを訪れている。メンバーの玉野高2年藤原寧々さん(16)は「初めの名曲「オー・シャンゼリゼ」や美空ひばりさんの「真っ赤な太陽」、ディズニー音楽「小さな世界」など9曲を披露した。子どものメンバーは演奏に合わせ、ダンスを見せた。ドイツ民謡「山の音楽家」では、利用者もタンバリン、マラカスなどで合奏し、楽しんでリズムを刻んだ。

「小さな世界」など9曲を披露した。

(正本和臣)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。